［主な景観地］

宍道湖西岸は主に田園を背後に持つ景観を有し、北岸及び南岸は主に山林を背後に持つ景観であり、東岸は主に市街地を背後に持つ景観となっている。

北岸は河川の河口を挟んでワンド形状となっており、ヨシはワンドの中央部に繁茂している。西岸は湖岸全体にヨシが繁茂している。南岸では、ヨシは河川の東側に位置している。

また個別の景観地として、湖北部の「冬の十六禿」、湖東部の「嫁ヶ島残照」、湖の北・東・西部にはハクチョウの飛来地などがある。

また、新しい景観としては、平成 15 年 1 月 1 日には、21 世紀を迎え、島根県を代表する宍道湖に対して、その景観を今一度振り返り、地域の財産として、また良好な自然として後世に継承していくべき風景を選び、その風景を広く共有することで、良好な宍道湖の景観の保全等に寄与することを期待し、宍道湖水辺八景が選定された。一般から公募し、藤岡大拙島根女子短期大学学長を委員長とした１１名の委員から構成される宍道湖水辺八景選定委員会によりで選定された。

－宍道湖水辺八景－

春の玉湯湖畔

宍道湖畔で美しい砂浜が唯一残るのが、玉湯川の西に位 置するこのあたり。柳が 自生し、大根の花が多く見られるここは、春の息吹を感じさせる場所である。 かつて海水浴ができた場所でもあるので綺麗な状態に保たれるよう望むとともに、 癒しの場所として人々が訪れることを期待する。

夏の空港なぎさ公園

出雲空港のすぐそばに新しく整備された公園です。水に親しめ、宍道湖の素晴らしい眺めも楽しむことができます。また、周辺からのアクセスも良く、行きやすい場所です。湖と空の青、砂浜の白、芝生の緑のコントラストが美しく、夏らしさが感じられます。宍道湖の新しい一面 として、多くの人々が憩いの場として訪れることを期待する。

秋の満願寺灘

満願寺のそばにあるこの場所は、水際まで人々が近づけ、子供達がよくシジミを採りに集まる場所である。紅葉した木々、澄んだ水が秋の季節感を鮮明にしている。　優しさを感じさせるこの場所は、後世に伝えたい良好な水辺の風景である。

冬の十六禿

冬の十六禿（じゅうろくはげ）には、多くの冬鳥達が羽を休めている。十六禿の絶壁 は、動物たちから鳥を守る格好の場所である。遠くに見える県立美術館と人工的にも見えるが自然にできた十六禿、そして近くには多くの冬鳥たちが休むこの風景は、大切に守り、後世に伝えて行くべき良好な水辺の風景である。

美術館のある水辺

白潟公園から県立美術館にかけての場所は、きれいに整備されたウォーターフロントである。　県立美術館の建物と水辺が融和し、憩いの場として多くの人々から親しまれている。今後も人々の安らぎの場所として愛され続けることを期待する。

嫁ヶ島残照

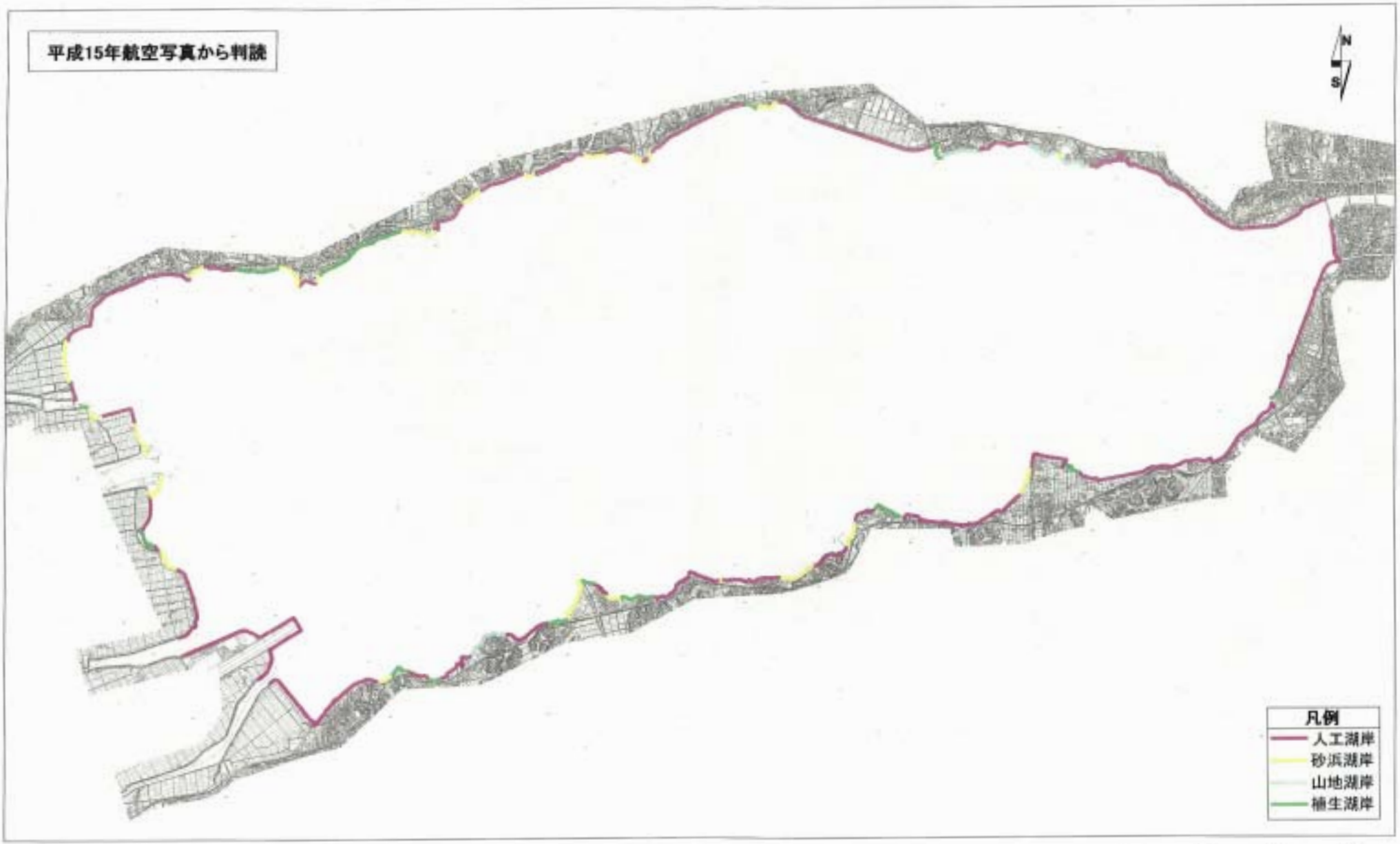
宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島。水面を赤く染め宍道湖に沈みゆく夕日と嫁ヶ島のシルエットが大変美しく、多くの人々がその景色を見るために訪れる。 人々を魅了するこの嫁ヶ島の景色は、誰もが後世に残したいと想いを寄せる場所である。

亀のいる風景

何も云わずに釣り竿をもつ石の亀。この亀のいる場所は、地元の人々に祭りや花火など多目的に活用されている。 家族連れ、子ども同士、若いカップル、大物に思いを馳せ毎日姿を見せる釣り人など、四季を問わず訪れる人が絶えない。 今後も、訪れる人々に、安らぎ、楽しみ、期待、そんな様々な思いを与える場所であって欲しい。

グリーンパークの夏

ここは宍道湖グリーンパークと一体となって整備された場所であり、生い茂げるアシ、羽を休める鳥たちなど様々な自然の魅力があふれている。子供たちも安心して水辺に近づくことができるこの場所は、四季を通 じて多くの人々に親しまれている。　これからも、自然あふれる憩いの場所であり続けて欲しい。


平成15年航空写真から判読
N
S
凡例
人工湖岸
砂浜湖岸
山地湖岸
植生湖岸
1000
0
1000
2000
3000m

北山中腹の広域農道
一畑薬師参詣道路
朝日ヶ丘団地
展望台
古曽志の丘
冬の十六秃
十二秃
秋の満願寺灘
浜佐田
艇庫
喫茶店
松江城
末次公園
末次公園
国道431号
ﾖｼ等繁茂
国道431号
喫茶店
ホテル
大橋
遊覧船
青柳楼の大灯竜
遊覧船から見た松江温泉
美術館のある水辺
岸公園
日本海TV社屋
嫁ヶ島残照
円城寺裏山
袖師地蔵
嫁ケ島付近
夕日
袖師公園
袖師ヶ浦緑道・緑地
嫁ケ島周辺
緑道
喫茶店
ナショナルの工場
湯町付近
漁船の係留
玉造国際ホテル
春の玉湯湖畔
島ヶ崎
国民宿舎麗雲荘
来待付近
植物の繁茂
瀬白石付近
釣人
亀のいる風景
夏の空港なぎさ公園
出雲平野の農地
斐伊川河口
宍道湖公園
グリーンパークの夏
園瀬付近のﾖｼ原
県立青年の家
大谷の茶畑
凡例
ランドマーク
展望ポイント
展望ルート
特徴的沿道景観
500m 0 500 1000 1500

主要な景観地等位置図

［観光客の移動に配慮した景観整備］

「一地域一観光」に磨きをかける良好な景観の維持、向上、創造」が観光立国行動計画（観光立国関係閣僚会議による）の中で挙げられているように、観光振興を図るためには、観光地域における景観整備が重要な施策のひとつになっている。

観光地域の景観のみならず、交通拠点から観光地域に至る行程も観光の一部としてとらえる必要があり、観光客が観光地域まで様々な手段で移動する経路においても良好な景観の形成を図ることが重要であると考えられる。

国際文化観光都市である松江市を中心とした宍道湖周辺地域は、出雲路におけるすばらしい景観を有した主要観光地域であり、この度、国土交通省が総力をあげて取組む「観光客の移動に配慮した景観整備」のモデル地域に選定された。

宍道湖 景観マップ

Shinjiko View Spot

私が見つけた宍道湖景観ポイント募集

宍道湖周辺地域の観光移動に配慮した景観整備

［文化財、神社、寺社］

文化財等は松江城を始め殆どが湖東部に集中している。

特に、大橋川河口の南部と松江城の南西部に神社・寺社の多くが建立されており、この地域だけで 20 以上の神社・寺社が存在している。

また、松江城の付近には小泉八雲旧居などもある。

寺社とは離れた湖北部や南部には古墳がいくつかあり、北部には丹花庵古墳、南部には岩屋寺跡古墳がある。

宍道湖全周の中でも、大橋川周辺に文化財等が集中し、特に左岸側に多いことがわかる。また、左岸側の堤内地には、松江城があり、この周辺に神社・寺社が多く存在し、古くからの町並みが見られる地区であることがわかる。

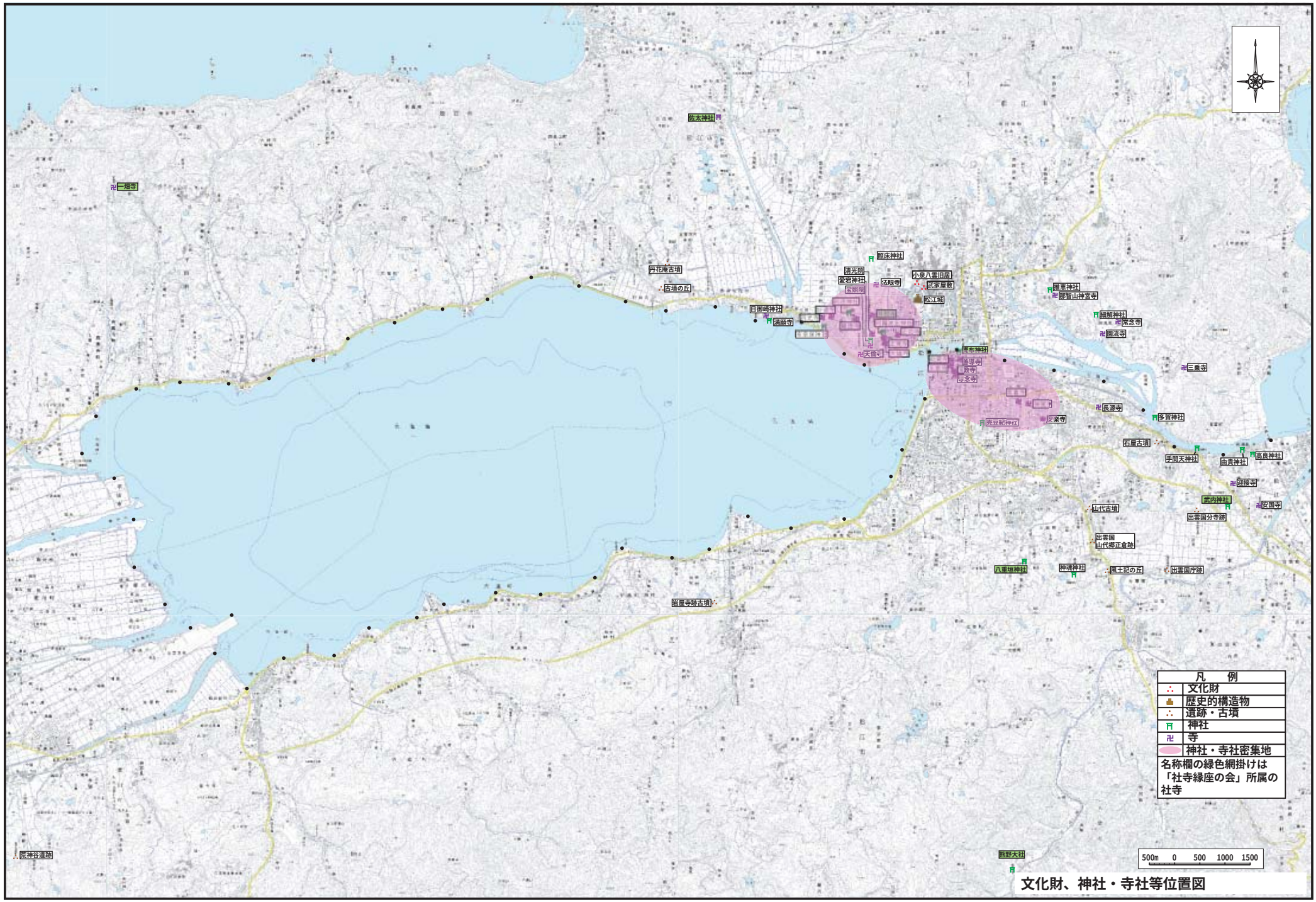
大橋川周辺では、右岸川に寺社が多い。また、下流左岸川には多賀神社があり、川と一体となった景観を見ることができる。

最近では、島根・鳥取両県の２０の神社仏閣が神仏や宗派を超えて連携し、出雲の国に古くから残る、人と人との「ご縁」を尊ぶ心、「和」の心の大切さを、世界に向けて発信していこうという趣旨の基、出雲の国「社寺縁座の会」が設立されている。

社寺縁座の会では、今回参画した二十社寺に巡拝番号をうち、それに沿って宍道湖、中海を囲む出雲地方を大きく８の字を描いて巡っていただくための「出雲國神仏霊場」巡拝を設定している。

［公共施設、公園緑地］

宍道湖全体から見た場合、東岸の「県立美術館」から北岸には、美術館やレクリエーションの場が数多く整備され、堤内地と湖が一体となった利用が伺える。また、西岸では、自然特性を生かした公園が整備され、「自然とのふれあい」を主体とした整備が進められていることがわかる。
大橋川には 5k 付近のくにびきメッセがあり、人々のレクリエーションの場として利用されている。



文化財、神社・寺社等位置図

公共施設、公園緑地等位置図